

# 平成30年度東京都多摩地域公立図書館大会開催要項

## 『地域に働きかける図書館 ～今考える図書館の役割 平成から未来へ～』

### 1 趣 旨

少子高齢化と人口減少、地域コミュニティの衰退と繋がり希薄化、社会教育の提供主体の多様化など、社会教育を取り巻く環境の変化の中で、図書館の役割が問われ続けています。

これからの社会教育においては、地域コミュニティの維持・活性化に貢献していくことが大きな役割となります。資料提供というこれまでの図書館の役割に加え、地域の関連機関との連携により、地域課題解決に取り組むことが求められ、課題解決に資するレファレンス機能の充実や地域課題解決に関する講座の開催など、より実践的な知的サービスが提供されることが期待されています。

本大会は、これからの図書館の役割について、図書館職員、市民が共に考える場としていきたいと考えています。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 2 主 催 東京都市町村立図書館長協議会
- 3 後 援 東京都教育長会、東京都西多摩郡町村教育長会、  
公益社団法人日本図書館協会
- 4 会 期 平成31年2月7日（木）、8日（金）
- 5 会 場 東京都立多摩図書館 2階セミナールーム
- 6 日 程

第1日目 2月7日（木）

9:30	受付
10:00	開会式  <b>第1分科会 館長協議会 『地域に向き合う図書館—その役割と課題—』</b> <b>講師：山口 源治郎 氏 東京学芸大学教育学部教授</b>  現代の公共図書館は、「ツタヤ図書館」問題に象徴的に見られるように、空間の「市場化」が急速に進められている。基調講演では、「地域」を手掛かりに、「市場化」に対抗する公共図書館の「公共性」の内容と、「地域」との関係性、図書館の役割などを考えてみたい。
12:00	
13:30	受付
14:00	<b>第2分科会 三多摩地域資料研究会 『市民と構築するデジタルアーカイブ』</b> <b>講師：坂井 知志 氏 常磐大学コミュニティ振興学部教授</b>  デジタルはパーソナルな技術であり、いつでも、どこでも、誰でもが活用できるものとなっている。コミュニティアーカイブは、市民が何を大切に想い、生活をしてきたのかを現在の人々と共有しつつ、未来へと伝えるものといえる。東日本大震災やアナログの時代のアルベール・カーン等の先駆者を検証しつつ、政府や学会などの動向、権利処理の具体的な方法について解説する。市民を主役にした構築方法を講義の中で模索する。
16:00	

第2日目 2月8日(金)

9:30	受付
10:00	<b>第3分科会 障がい者サービス研究会 『改正著作権法と図書館の障害者サービス』</b> <b>講師：佐藤 聖一氏 埼玉県立久喜図書館 障害者サービス担当司書主幹</b>
12:00	平成31年より施行される改正著作権法では、視覚障害者等に係る権利制限規定の対象者の範囲が視覚障害その他の障害により視覚による表現の認識が困難な者に拡大され、提供方法として公衆送信が認められることとなった。これまでの経緯と法改正における解釈から、障害者サービスにどのような変化があり、「地域に働きかける図書館」として、サービスの利用促進に向けどういったことが必要とされているのか研究・検討する機会を設ける。

- 7 対象 図書館職員及び一般の方（全講演に手話通訳が付きます）
- 8 参加費 無料
- 9 申込方法 一般の方は、当日直接会場へ。  
図書館職員、図書館協議会委員及び読書団体関係者等については、各図書館で参加希望者を取りまとめ、大会事務局へEメールにて事前申込みとする。
- 10 受付期間 平成31年1月21日(月)まで
- 11 会場案内 東京都立多摩図書館 2階セミナールーム  
住所：東京都国分寺市泉町2-2-26  
JR中央線・武蔵野線：「西国分寺」駅南口徒歩7分  
京王バス：寺83系統・寺85系統「いずみプラザ前」下車、徒歩5分  
ぶんバス：万葉けやきルート「西国分寺駅東」下車、徒歩4分



- 12 問い合わせ 東京都多摩地域公立図書館大会実行委員会事務局  
武蔵野市立中央図書館（担当：鎌田）  
TEL：0422-51-5145 / FAX：0422-51-9317  
Mail：LB-CHUUOU@city.musashino.lg.jp